



サカタニ友の会 ニュース

2015年は安



毎年末その年の漢字が選ばれる。15年は「安」の字に決めた。今までは、なるほど、その年に表すのに相応しい字が選ばれた。遡ると

- ◇2010年 暑夏の猛暑
- ◇2011年 絆 東日本大震災
- ◇2012年 金 ロンドン五輪
- ◇2013年 輪 2010年の夏オリンピックが東京に決定
- ◇2014年は「税」だった。

「安」と発表された。安という字は、安心、安全など多に使われ、安らぐ字を嫌いではいない。

新年明けましておめでとうござります
 甲子年は「安福」が主眼
 誠に有難うございました
 本年も何卒よろしくお願い致します
 平成二十八年一月一日
 株式会社 サカタニ 代表取締役
 ファミリーマート サカタニ 代表取締役
 代表取締役 酒谷義郎
 取締役 酒谷香也子
 酒谷宗男

発行 株式会社サカタニ 集西楽サカタニ ファミリーマート サカタニ京阪七条店 〒605-0993 京・東山区七条こころ坂 TEL・075-561-7974 URL www.sosake.jp / E-mail info@sosake.jp 月刊 発行会員新聞 編集 酒谷 義郎 yosirou@

だが、時期が悪い!。昨年は「安倍」で安倍反対の声を無視した安倍晋三総理の「安」でもあり、安倍という2015年、岸信介首相が安保改定に乗り出し、米側と話し合いがもたれ、新安保が現実味をおびた。だが反対アモが活発化し、60年5月19日には新安保条約が強行採決される。請願アモは、岸信介内閣退陣を要求する抗議アモへと変わり、6月15日には国会での衝突のなか、東大生



堂を取り巻く人達を写した航空写真。アモは東京だけでなく全国各地で盛り上がり広がった。京都では激しい声を上げて、シゲザグデアモを進めるのではなく、横に十数人が手を伸ばして繋ぎ合ひ、あまの大きな声もたさない「アモス、アモ」という形が多かった。

話には突然変わるが、私は父より、酒屋を始めた祖父を尊敬していた。ヒョトしたら安倍さんともつながりも知れない。安倍騒動に時の総理岸信介さんは、氏のお祖父さんに当たること聞いている。岸信介氏は日本を占領下に置いた連合軍からA級戦犯被疑者として逮捕され、東京の巣鴨拘置所に収監さ

第3日曜日開催日12月20日(定例朝9時~) 第131回 朝粥食へておシャベリ会 講演 東山区長 鷲頭雅浩さん(報告) 中村アヤさん

今回の講師は、東山区長の鷲頭雅浩さん。お地蔵さん物語のお話というテーマでの講演でした。京都女子大学家政学部生活造形学科の学生さんがイラスト協力をされ、東山区役所地域力推進室が発行された、可愛らしく親しみやすい冊子が配られました。この冊子は、平成28年2月に「京の地蔵盆―地域と世代をつなぐまちの伝統行事」が「京都をつなぐ無形文化遺産」に選定されたのを機に作られたそうです。大人だけでなく、未来の担い手である子どもたちにも読んでもらえるようにと、見開きの左側を大人向けに、右側をふりがなとイラスト付きの子ども向けにするという工夫がされています。この冊子を基に、お地蔵さん誕生の歴史、お地蔵さん信仰について、地蔵盆についてなど、わかりやすくお話しして下さいました。



皆講師のご講演の後、朝粥を食へてお楽しみました。定員40名参加費300円

大黒湯さん(当社の向かい側)入口脇には「空豆地蔵」(写真右)松原通大和大路東の西福寺には「子育て地蔵」(写真左)など、東山区内には、たくさんのお地蔵さんがあるんですね。こやかな笑顔と穏やかな口調が印象的な鷲頭区長と、優しいお地蔵さんのイメージが重なり、心がほっこりするひ

人情的におおむねを尊敬されて、そのお方が、多くの国民の大反対を押し切ったのを真似て、今回の「安倍」で頑張られたのかも知れない。日本の安全の為に「安倍」は必要と云う人も多いたろう。一商売人の私が「字」のことでとかく言うのも、おがまし事だが「安倍」には必ず、絶対にアメリカが、日本を守る」という条項は無い。安の字は、憲法9条を大切に。安の字は、2008年、70歳で天寿を全うされた清水寺管長大西良慶におおしりようけの「後継者」に書いて欲しいな。そう、清水寺は馬町に近い。風向きによっては月16日、爆弾で壊されなかも知れないのだ。

「馬町空襲の地」の碑 献花祭
 ★アメリカ空軍B29に爆弾を落された日から
 71年目 2016年 1月16日 (土)
 午後3時~4時
 ★場所: 東山区渋谷通東大路東入・南側:
 京都市立白河支援学校
 東山分校校門内にて
 (旧修道小学校)
 参加費 不要です
 43名の犠牲者に献花



▼前戦争世代は、戦時のことを正確に語り継ぐ責任が有ろう。馬町空襲献花祭来てちょうまげ!

進め一億火の玉だ!は、先の戦中、大政翼賛会が掲げたスローガンの一つ。同名の軍歌になった。

▼同じ頃、(日中戦争最中) 神武天皇が即位された年から2000年という紀元節の大行事もあり、その記念で、国旗掲揚塔が各町内に建てられた。今も残っているのが有る。

▽既に反政府勢力は、治安事案維持法等で国賊だと「獄中」欧米の植民地化の「アジア」の国々を解放し大東亜共栄圏を創ろうが国策となっていた。

▼その頃「紀元節」の歌(増田好生作詞 森義朗作曲)♪金鶏(きん)輝く日本の榮ある光身にうけて今こそ祝へこの朝あしたの紀元は二千六百年、あゝ一億の胸はなる?♪ができた。

▽当時、幼稚園児だった私が今も歌えるほど、何度も歌わされた。が、先記の元の歌では無く値上げを皮肉った「替え歌」の方を良く覚えてる。

▼それは♪金鶏上がつて15銭 栄えある光30銭今こそ来たぜこの値上げ、紀元は二千六百年あゝ一億の民は泣く♪

▽金鶏 光は時の煙草の味だ

▽言論統制の厳しい戦時中でも庶民の抵抗が、この様な形で世間に拡がり、敗戦後70年平和な日本で有った。戦争実感を持たない人達が増えた。

どんつき

敬子さまの「億総輝き」お題を見て、私の子供時代に良く見聞きした(昭和15年頃の標準語を思い出した)。

▽今号p2の投稿石動

ヨシちゃん のひとりごと



ヨシちゃんこと私8才。若い心算だったが、最近?昔のことは覚えても、今のことを忘れることが多い。ヒョットするとそれも忘れる様になるかも?。それで店と私のことを数回にわたって、この欄に書きつけて戴くことにした。お許しを賜りたい。

時は流れる①

祖父喜一

郎が大正二年に、夫婦で勤めてた醤油店・屋号津之興(現サクルの場所)にあたる業務を引き継ぎ丸津の屋号で現在地の東4軒目の家でスタートした。丁度大正天皇の御大典の年。陛下が行列が泉涌寺に行かれるのを拝んだといっていた。その頃、現七条大橋が完成。七条通り拡幅市電設置、東海道線の東山トンネル工事もあり、それに携わる人で超繁盛し、現在地(借家)に移った。番頭、丁稚、お手伝い女性もいて、店先はカウター付きの酒場になっていた。独立させた店の人や親戚に手印銘柄清酒「神馬」(シンメ)を売る酒場営業を勧め、今のチエーン店のような形式で八店舗が月一度、店に集まり、会合していた。(昭15まで)今も酒場を千本中立売の神馬酒場」と北区新町の「新しい酒場」がなまっています。



酒場営業を勧め、今のチエーン店のような形式で八店舗が月一度、店に集まり、会合していた。(昭15まで)今も酒場を千本中立売の神馬酒場」と北区新町の「新しい酒場」がなまっています。

敗戦直後、祖父が没し、父一郎が引継ぎ、昭和24年、酒の卸免許を得て酒問屋、酒谷本店写真②になった。倉庫、奥の蔵まで線路を付け、トロッコで運んだ。酒免許制限で、卸は

小売り禁止されており、従来の小売から撤退した。当初は順調な業績だったが、昭27年多額に横領事件が発生し、その裏付け調査で、税務署と警察が、お得意先の酒小売店に入った。当時は、米不足で配給の時代、酒米が不足で、清酒醸造石数も制限のある時代。お得意先の要望に



250万出資で株式会社酒谷本店で再出発になった。谷本本店で再出発になった。

稲荷山 ぶらり散歩記 越智薫史

伏見稲荷 大社は初もうで客で大賑わいである。様々な願いを込めての参拝であろう。伏見稲荷大社の神さんは、そもそも何の神さんやろかと思っ



よく言われるのが和銅4年(711年)に秦氏の神さんが下社に舞い降りたのが始まりとある。今でも二の峰にある下社の白菊大神が最も崇拜され、

一億総輝き 石動敬子

国の予算があれこれ審議され出し

た。正月の4日に国会招集と俄かに決まったようだ。さんざん、遅れていたが、18歳選挙権の実施の日程を逆算してのこととか。相変わらずの計算ずく。家庭ひとつでも、限りある予算の配分には心をくぐく。冷暖房や交通費、など切り詰めても、実現したい夢は、などと。勿論無駄を削って全体像を見極める力がなければ無理。素人目にも、白紙撤回や、おわびなどの多いなか、部分的手直しでやっていけることか?

偶然飛び込んでくるものとの反応を楽しみます。それは、一枚のイロハ紅葉だったり、ミニコンサートの案内、半額セールの何かだったり。で、苦手で全くダメだったことに挑戦することになったりもします。

この夏の、あの国会運営は、どう考えても、忘れるわけにはいかない。本音剥き出しの無法ぶりこそ選挙であぶりだされなければまた「つけ」を次世代に残すことになりませう。とまあ、年の瀬の手足を動かしながら、独りぶつぶつとあれは、ちよいと外出を私は楽しみます。歩きながら、動きながら、



稲荷山はこの三つの峰の神さんを中心に、あちこちにお塚様写真」と呼ばれる石の郡と鳥居からなる大小さまざまの神さんが鎮座している。

我々も神さんを作ろうと思えば、伏見稲荷大社の許可を得て、なんとか大明神」と名前を付けて、ここに祀ればよいのである。近代では商売の神さんというのが主流になつてはいるが、なんでもありのようだ。先日、NHKテレビで、日本人のルーツという興味深い番組を放映していた。日本列島には中国系、北方系、南方系など多様な人種が共存し、縄文時代は一万年間も立派な生活をしてきたというのだ。食文化も今と変わらぬくらい豊かであったらしい。多様な人々が豊かな文化を育んで共存し助け合つて生きていたのだ。話は少し飛躍するかもしれないが、

京都&東山 ぶらりピカリ

66

七条通

しちじょうとおり

七条通烏丸

⑨ 下がる西側、

物産館

ぶっさんかん
バシカメラ

「百貨店」、更にその前は(通称ブッザンカンと呼ばれていた)丸物百貨店だった。その創業者中林仁一郎氏が京都駅近くで「京都物産館」という店を開店、そのマーク(○の中に物産館の物ことロゴの決め、事業を拡大、他の地域へ出店を経緯に、2012年に「丸物(マルブツ)」に改称された。が、「丸物」と代わっても、祖母達の世代は、使い慣れた「物産館」を使っていた。幼児だった私は、店が忙しくなると祖母は、マーチ(丁稚)に私を「物産館」へ連れて行くと命じ、屋上で、馬やゲームで遊んだ記憶が有る。丸物北隣りの七条警察署を舞台に、敗戦翌年(1946・1・15) 大事件「七条警察署巡査殺害事件」が起った。事件は、七条警察署員



が「ヤミ米買出し」をしていた朝鮮人を物価統制令違反として現行犯逮捕した事から始まる。連行の途中、犯人は隙を見て逃走、在日本朝鮮人連盟の支部に逃げ込んだ。警察は引渡しを要求したが朝連側は拒否。1月24日、朝鮮人40人が七条警察署に押しかけ、署長に抗議した。それに対し、終戦直後より朝鮮人と対立していた駅付近に多く住むの屋・博徒達が、在日朝鮮人が、七条署に押しかけるとの情報を知り、急遽200人が警察の応援に駆けつけ防衛体制をとった。このときの屋側には、朝鮮人排除を助けることで警察に恩を売り、見返りとして、七条署管内の駅周辺の「闇市場」で自分たちへの取締を手加減して貰おうとの想いが有ったのだろうか(?)。

七条署を襲った朝鮮人達が、署長に手錠をかけようとした寸前、署員と共にの屋博徒の集団が署長室にだれだれ込み、朝鮮人を実力で排除した。その後、朝鮮人は反撃のために約200人を集結させ、京都駅前(的屋・博徒と大乱闘になった。警察は、急遽米占領軍MPOの行動を要請、MPOが駆けつけ漸く沈静化した。この事件で、被博徒集団側1人、朝鮮人数人死亡、負傷者も多数有った。



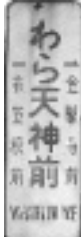
京都駅から北の烏丸通り(昭27) 右の3階建ビルは中央郵便局、その北側のビルは「丸物百貨店」

事件で学校も休校、私は友人たちと、野次馬で近くまで見にいったが、竹槍や日本刀を持った博徒風集団が、烏丸通で警察署を護るように焚火を囲み屯し、怖くて近寄れ無かった。敗戦直後の大事件だ。

市電が走った 京都を巡る

59

福田静二



西大路線の市電は、

衣笠駅前を出発、北へ向かって走り始めます。車窓正面の左大文字山は、ますます大きくなって近づいてきますが、しばらく走ると、西大路通は

やや北東へ向きを変えて、左大文字は車窓左手に移ります。西大路通は、ほぼ一直線で南北を貫いていますが、唯一、はつきり分かるカーブです。この理由は、地図を見れば明らかです。まっすぐ進むと、左大文字の麓にある金閣寺にぶつかってしまい、す。昭和初期の西大路通の拡張、市電敷設の時、金閣寺に敬意を表して、市電みずからカーブして避けたものと思われま。

そのカーブ地点の右手に、うつそうとした森と土塀が続きます。平野神社です。平野神社は、平安京遷都



わら天神前停留場の京都市電

に伴い平城京から遷座・勸請したのに始まり、延暦十二年に創建された。当時は京都御所に匹敵する広さがあつたそうですが、現在は東西二百メートル四方の神域です。本殿は平野造りと言われ、四棟のうち二棟がつながっている形式で、一般の神社とは少し違います。

平野神社の神紋は桜です。平安中期、花山天皇が境内に数千本の桜を植えたことに始まります。江戸時代には、すでに平野の夜桜として全国的に桜の名所として知られます。現在でも京都屈指の桜の名所で、とくに珍種が多く、現在は五千種約四百本の桜が植えられています。毎年四月十日には桜祭りが行われ、花見車や御輿の行列なども練り歩きます。

そして、平野神社から少し東へ歩くと、北野天満宮の北門へと至ります。手を流れるのが紙屋川で、東側には崖の上に築かれたお土居が南北に続きます。

そしてまもなく到着するのが「わら天神前」です。京都市電では唯一のひらがな混じりの停留場名です。今でこそ、かな書きの駅名・停留場名は、よく見受けられますが、戦前生まれの停留場としては、たいへん珍しいものでした。正しく書けば「藁天神前」とするところ、さすがに漢字一辺倒の当時であっても、「藁」は難解な漢字と判断されたのでしよう。停留場設置時から「わら」

でした。その「わら天神」とは、停留場の

平野神社の前行く



西側にある敷地神社の通称です。安産の神として信仰されており、安産御守として藁が授与されることから「わら天神」の通称があります。藁に節があれば男児、節がなければ女児が誕生すると言われていました。停留場前で交差する東西の道路は蘆山寺通で、西へ行くと、木辻通と合

流し、きぬかけの路と名を変えて、立命館大学の正門前へ至ります。珍しいひらがな書きの停留場名も、さまざまの歴史や由来がありました。

わら天神を西へ、衣笠山の下に、衣笠球場が有った(現在立命大)当時二リーグになつたプロ野球松竹(近衛ホームグラウンド)小鶴誠が大活躍していた。彼は和風ジョーデマシオの異名で(外、内野手)。右投げ右打ち。1950年に記録した101打点43得点576塁打はNPBシリーズ記録だ。高校生だった私は、友人と学校をサボって良く観戦に行つた。お陰で見事に志望大学は滑った。編集者余談

酒屋で生きて 生かされて



第百九話の①「舞鶴の福井 辛抱の辛抱」

本店京都支店合併した

子会社になった「酒問屋酒谷本店」は動き出した。それで売上が増え手狭になり、道路を空瓶置場する様になった。が、私の年収は納税



不要な低所得だった。店の土地建物は父の名義であるが、その家賃は、個人時代の旧債務肩代わりした「福

井本店」支配下の酒谷本店に「預け金」として「押え」られていた。既に結婚し子供も有り、何としても、酒谷の不動産を譲りたいと思っていた。それで「酒問屋」には狭すぎるので、店舗移転を福井社長に提案した。

少し話は遡るが、父が酒小売から卸に転業(昭24)する時、私は反対した。簿記会計社会科学の勉強も、時の流れで卸業の将来は難しくなると思っていた。結果は予想通りで、父は二度、元々の店を整理した。只、全く無視をせず向かい側に「酒小売店(株)いづみ屋」をつくった。それが後に、今の「株・サカタニ」になった。話を戻す。提案した移転は中々進まない。ある時点で溜められていた「預け金」が、父の旧債務の額を越えた。これなら「抵当権担

保」を外せると福井社長には事後報告することにし、会社実印を使い担保設定を抹消した。その後報告すると「背任行為で訴える」と

告すると「背任行為で訴える」として下さって結構です。私も「父の債務は無しですから、元には戻りません」と答えた。賢明な福井社長は諦めて下さって、後、上鳥羽に適地が見つかり酒問屋(株)酒谷本店は移転、社名「福井善四郎京都店」に変更。私は、常務・店長になり通勤した。年収は増えなかつた。でも、酒谷家としては他人にご迷惑を掛けず酒谷の負債完済が出来たので辛抱をした。移転した上鳥羽辺りは、当時はマダ農地が有ったが「工場や事務所」が増えつつあった。一部を「オムロンさん」に貸していた。が、勿体ないと思つてある提案した。:

美しい時、 崩壊の時

月三天



一月になりました。初春のお喜びを申し上げます。昨年今頃は雪で参ってしまいましたが、2015年の一月は一体どうなっているのでしょうか?

というのも、この記事を書いているのは例年通り十二月二十日頃でして、まだ年末年始の気象予測がつかない段階です。振り返れば、2015年の一年間は気候が安定しませんでしたね。雪から始まり、春が来ない。雨の降らない梅雨。夏近くの猛暑に台風、次の日が分からない気温の変化。秋雨なのにか

SAKURA 福井 伊子 Funiko Kousei tu



JOYZ

新しい年の始まりです。皆様におかれましては

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

七条出身のウクレレとギターのデュオ、フラーリ・パッドは、昨年、お陰様で結成10年を祝うことができました。これも偏に皆様の応援あつてこそと、本人共々心より感謝しております。こと地元の皆様には、幼い頃からの夢を追い続ける二人を底辺から支えていた

だき、一人にとつてどれだけの励みになったことか。競争の激しい音楽業界の中で、この10年、歯を食いしばつても頑張つて来ることができたのは、故郷の応援がなければこそです。自分たちにはいつでも戻れる場所がある、温かく迎えてくれる人がいる、応援をしてくださる人々のためにも自分たちの道を貫きたい、それがこの10年の二

人の起動力でした。新たな年を迎え、自分たちのキャリアの新たな章を開くにあたり、フラーリ・パッドは新たな挑戦をしようとしています。京都という町に生まれ育ち、今も京都を愛してやまない自分たちだからこそ、京都という町の伝統と発展を自分たちの音楽世界に生かし、新たな音楽文化を三京都に創造し世界へ発信していくことを考えています。地元に着した創作や活動を進めることで、自分たちにしかない音楽を、京都でしか生まれない世界を創造し、世に広めていこうとしています。

2016年のフラーリ・パッドは、皆様に喜びを何乗にもしてお届けできるように、そんな音楽の創造に務めてまいります。そして向こう10年かけて、新たな音楽文化を創造してまいります。京都と言えはフラーリ・パッドと言われるその日を目指して!

本年もかわらぬ応援をいただけたすよう、どうぞよろしくお願いいたします。

りの大雨。温暖な十一月。十二月は急に来た!この通り、気候も气压もどうも安定しません。まあ、こんなことをつらつら書いてもただの愚痴ですね。新年早々、天に愚痴こぼしても仕方がありませんし、目標でも立てましょう。私はいつも通り、目の前に見えている鮮明な未来を、一つ一つ現在という時間の中に作り上げていくことです。学生を卒業すると、成績や点数をつけてくれる人がいなくなります。そうなると、人間の弱い所で、なあなあに日々過ごしがちになります。矛盾しているかも、しれませんが、そういう日々って人間直ぐに飽きるんですよ。何だろう?脳みそがあつて、好きなことも、嫌なことも考へて、その考えを行動に移して、失敗・中

途半端・成功など様々な結果を出すことにより、新鮮な感覚と感情が生まれる。同じ時間に同じことを何も考えなしにするのではなく、ふと思つた物事へ脱線してみる。それは、別に人を巻き込まなくてもいいんです。この時間は本当は本を読むのだけれど、今日は辞書を引いてみようか。新しい辞書には「ええ、こんな言葉まで!」というの載つていたりします。空を眺めてみよう。いつもは和風料理だけれど、イタリアンにしてみよう。これは小さな小さな脱線に過ぎませんが、新鮮な世界を築いていきます。

▼お詫び文
「とんからりん」元旦号は、一旦配布と郵送しましたが、3pのプリント間違いに気が着かず「誤った」ものをままだでお届けしてしまいました、▼ご投稿者にご指摘でビックリし、即、修正や入力をして、本来の3ページにいたしました。全く、編集者のボケミス。それで「正しいp3p4」をお届けしました。▼もう15年以上「新聞風」読み物を出しながら、この様な凡ミスを、年の始めに元旦号でして恥ずかしい次第です。お詫びもいたします。▼子供時代お正月の歌を「門松立つてえ」を「門松ひっくり返して」と歌つた「罰」かと思ひましたが、声は消えても文字は消えませんが、重ねて詫言します。▼とんからりん「私」、はこれまで、身体、家庭、仕事で何度モ「モウアカン」という事態にぶち当たつて来ました。▼ところが、不思議な程いつも最悪寸前で、救われてきました。何方に進むかもや悩み苦しみました。選んだ方が、必ず良い方になるのです。▼今回の凡ミスも、私に対しての警告鳴と思つています。更に本年は、重大な決断をしなければならぬ事が起こりそうです。(起こります)今回を忠告だと決め、正しい判断を致します。▼年齢的には後期高齢者ですが、自分的には「ママ」やりたいたことが山ほど残っています。昔、よく歌つた「若者の歌」の若者を年寄りに置き換えて、心の中で歌つてます。アホやな

次号に続く)